

【第82回ラジオ番組審議会議事録】

1 開催日時

令和2年11月24日(火) 16時～17時

2 開催場所

BAN-BANネットワークス本社 1F会議室

3 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 4名

出席委員の氏名 遠藤由美子 島崎純子 畠 善秀 山尾昌弘 (五十音順、敬称略)

放送事業者側出席名 山根直也 大竹良次 藤井良一 江村直樹 石川麻優

4 議題 「東播磨ラジオシェイクアウト訓練～防災Fine Day！」

放送日時：令和2年11月14日(土) 10時～11時44分

パーソナリティ：谷山 香

ゲスト：畑 邦夫 さん (加古川市推薦ひょうご防災特別推進員
東播磨防災チーム代表・防災士)

①ご自身の日ごろの防災意識についてお聞かせください。

②番組を聴いて、防災意識は高まりましたか。

5 議事の概要

・番組審議は、事前に番組視聴の上、議題について話し合った。

6 審議の内容

- 藤井課長 それでは、審議を始めます。まずは、今回審議していただく「防災Fine Day！」について、担当担当からご説明します。
- 石川主任
- 島委員 「シェイクアウト」は初めて聞いた言葉でした。訓練放送の1分間は長く感じました。新型コロナへの対策ばかりになっていたが、災害に備えるということは大切だと感じました。地元では消防団に入っていますが、
- Q & Aでは、具体的な質問内容でラジオを聞いて参考になった人も多かったと思います。私自身もあまり準備していないので。ハザードマップについても調べてみました。兵庫県と稲美町のハザードマップがあり、県のを携帯で見ましたが、携帯では開けないページもありました。自分の住んでいる場所は、加古大池の近くで、ハザードマップでは床下浸水の対象地域になっていました。今はコロナ対策が先行しているので、このタイミングでこのような取り組みを行ったことは率直に良かったと思います。
- 藤井課長 番組を聞いて、何か準備をされましたか？
- 島委員 スリッパを置いておくのとよいと番組で聞いて、さっそく置きました。西宮で阪神大震災を経験しましたが、
- 遠藤委員長 前情報を何も入れずに番組を聞きました。冒頭、何が始まったんだろう？とびっくりしました。1分間長く感じました。「マイタイムライン」という言葉を知らなかったので、最初は何だろう？と思いました。聞いていくうちに、我が家でも数年前、家族でそんな内容を話し合ったことを思い出しました。その時話し合ったことを思い浮かべながら番組を聞いていると、小学校も体育館が使えない場合があると話されていて、今決めている内容の見直しが必要だと感じました。今度のお正月に東京と大阪にいる息子たちが帰ってきたら、マイタイムラインについて話し合おうと思います。番組では、防災グッズにラジオを、と話していたので、子どもが昔作った手回しラジオも置いておこうと思いました。家族が増えたので簡易ベッドを買ったり、登山靴を買ったりとアウトドアのものをそろえていたが、アウトドアと防災はつながっているの、防災と意識せずそろえていることにも気づきました。
- 藤井課長 番組の内容は伝わりましたか？
- 遠藤委員長 谷山さんの声はソフトで聞きやすく、島さんも落ち着いた喋り方で、内容も入ってきました。
- 藤井課長 以前に家族で話し合いをされたのは、何がきっかけだったのですか？
- 遠藤委員長 東日本大震災がきっかけでした。

山尾委員 災害は色々ありますが、今回は地震についてでした。日頃、地域や職場では火災訓練が多いので、地震を想定した訓練は新鮮でした。番組の内容は、日ごろ消防団に入っていて色々取り組んでいるけれど、あまり知らないことでした。Q & Aで畑さんが紹介されていた、子どもに写真を持たせるというのは、こんなアイデアがあるのかと勉強になりました。私自身も薬を服用していますが、薬の備えは忘れがちです。お薬手帳を持ち歩いていないので、それも気を付けようと思いました。

番組を聞いて、自分の家は何もできていないと反省しました。集合場所なども決めていませんし、持出袋も用意していない。番組をきっかけに、家族でそろえていきたいです。

島崎委員 地震、水害とそれぞれに具体的な対策についてのお話があり、よくイメージしながら聞くことができました。お子さんの荷物に、裏に名前を書いた写真を入れるというお話など、とても参考になると感じました。職業柄もありますが、全体として、BGMが少し気になりました。ストリングスなどのメロディアスなものはそちらに気を取られてしまうように感じます。真剣に聞きたい内容のときは、BGMがなくてもよいのではと感じました。冒頭の訓練については、テレビならば「これは訓練です」と常に表示できますが、ラジオではそれができません。たまたまチューニングを合わせた人に訓練であることを伝える術がなく、知らずに聞いたら慌てる人がいるのではと思いました。どうするのが良いのか、難しいですね。Q & Aの締めめの場面で質問が来て、コーナーが終わろうとしていた流れを止めて差し込んだ場面がありました。どんないいお話が聞けるのだろうと期待したら、内容が浅かったので、進行を止めてまで伝える必要があったのかと感じました。リスナーの声を拾うのも必要だと思いますが、内容はある程度精査したほうが良いのではないのでしょうか。

石川主任
島崎委員 番組を聞いて、防災用語など分かりづらいことはありませんでしたか？タイムラインというワードが出てきて、何だろう、よく知りたいと思っていたら、詳しくは検索をと言われたので、肩透かしをくらったようで不満が残りました。そこをもっと聞きたかったと思いました。

遠藤委員長 タイムラインについては、家事をしながら聞いていたので、内容を聞き逃して、あとからもう一度聞き直しました。

畠委員 防災のような硬い内容は、話が長くなると頭に入ってきにくくなります。今回ぐらいの内容で、知ってもらいきっかけを作ることができたので、良かったのではないのでしょうか。

藤井課長 ありがとうございます。これをきっかけに、皆さんご自身で調べていただき、知るきっかけとしていただければと思います。
他にご意見がなければ、審議は以上とさせていただきます。
本日もたくさんのご意見ありがとうございました。

7 審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置およびその年月日

なし

8 審議機関の答申又は意見を公表した場所における公表内容、方法、年月日

公表内容・・・審議の内容

公表方法

- ・事務所に備置き 令和2年12月17日～
- ・番組「あさスパ!」において放送 令和2年12月17日(木)
- ・ホームページに掲載
令和2年12月17日～

9 その他参考事項

なし